



FUKUOKA
ONE HEALTH

第4回 福岡県ワンヘルス 国際フォーラム

参加
無料

F u k u o k a O H I F

会期: 2024年2月17日(土) 13:00~17:40

会場: アクロス福岡4F 国際会議場 ※日英同時通訳
(〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目1番1号)

定員: 200名

テーマ: 「ワンヘルスによる
ウェルビーイングの実現」

開会式

基調講演

- 1. 「医学と獣医学の対話～人類と動物のウェルビーイング～」
ラファエル・ラガンズ 氏 (世界獣医師会会長)
- 2. 「低所得国における食と健康」
サミュエル・セバサガヤム 氏 (ビル&メリンダ・ゲイツ財団畜産部門長)
- 3. 「複雑化する課題の解決のためのワンヘルスアプローチ導入」
トレーシー・ゴールドステイン 氏 (コロラド州立大学ワンヘルス研究所所長)
- 4. 「感染症研究からワンヘルスを目指す～人と動物の健康と幸福～」
塩田 佳代子 氏 (ポストン大学公衆衛生大学院アシスタントプロフェッサー)

総合討論

座長: 横田 文彦 氏 (九州大学准教授)

閉会式

開催時間や講演内容は変更となる可能性がありますので、最新情報はHPをご確認下さい。

前日
開催

ウェルカムレセプション

会期: 2024年2月16日(金) 17:00~20:00
会場: ホテルニューオータニ博多
(〒810-0004 福岡市中央区渡辺通1丁目1番2号)

定員: 200名

会費: 3,000円 ブッフェ形式

内容: 第1部 17:00~18:00
大学生等によるワンヘルス発表セッション
第2部 18:00~20:00
講演者、参加者、関係団体等のネットワーキング
※事前登録制となります。申込フォームからお申込みください。

前日・同日
開催

ワンヘルス・ブース出展コーナー

会期: 2024年2月16日(金) 13:00~16:00
2月17日(土) 10:00~15:00

会場: アクロス福岡 6F 会議室
(〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1番1号)

内容: 企業・団体によるワンヘルス関連ブース出展、
大学、高校のワンヘルス活動ポスター展
出展者: 福岡県、アジア獣医師会連合 (FAVA) ワンヘルス福岡オフィス、
国連ハビタット福岡本部、日本レスキュー協会、
ワン・ヘルス・クリエイティブ など
※事前登録不要のため、お気軽にお立ち寄り下さい!

同日
開催

ワンヘルス県民講座

会期: 2024年2月17日(土) 10:00~12:00
会場: アクロス福岡 4F 国際会議場
(〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1番1号)

内容: 「ポストン大学助教授 塩田先生と
インフルエンサーによる対談(予定)」
共催: 九州の自立を考える会、福岡県、
アジア獣医師会連合 (FAVA) ワンヘルス
福岡オフィス

※申し込み方法は「九州の自立を考える会」のHPを御確認ください。

事前参加 登録あり

応募多数の場合は抽選とし、医師・
獣医師・研究機関・大学・行政関係者を
優先させていただきます。



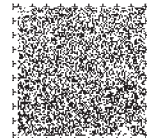
福岡県ワンヘルス国際フォーラム

検索

主催: 福岡県ワンヘルス国際フォーラム実行委員会
運営事務局: アジア獣医師会連合 (FAVA) ワンヘルス
福岡オフィス
運営受託会社: 株式会社アウルズ

✉ Email: convention@owlsone.co.jp

🌐 <https://one-health-fukuoka-4.com>



ワンヘルスに関連する世界トップクラスの専門家が集い、
それぞれの研究分野からワンヘルスとその先にあるウェルビーイングの実現について共に考える

Program

会期：2024年2月17日土
13:00~17:40

会場：アクロス福岡4F 国際会議場 定員：200名
※日英同時通訳

- 開会式
- 基調講演

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.



「医学と獣医学の対話～人類と動物のウェルビーイング～」 ラファエル・ラガンス 氏（世界獣医師会会長）

スペイン・ソリア県で大型動物診療医として獣医師のキャリアを開始し、後にスペインのカスティーリャ・イ・レオンの獣医公衆衛生官として27年間従事する。その他、スペイン食品安全庁の諮問委員会メンバーを務めたほか、スペイン保健省の評価委員会、スペイン獣医療法定組織の地方、国、国際レベルで様々な役職を歴任。カスティーリャ・イ・レオン保健科学研究所、欧州獣医継続教育イニシアチブ (VetCEE) などの各種プロジェクトに関与する。2015年から19年まで欧州獣医師連盟 (FVE) 会長を務め、2022年から世界獣医師会 (WVA) 会長を務める。



「低所得国における食と健康」 サミュエル・セバサガム 氏（ビル&メリンダ・ゲイツ財団畜産部門長）

スリランカのペラデニヤ大学で獣医学及び外科学を学び、オックスフォード大学サイド・ビジネス・スクールにてMBAを取得。ビル&メリンダ・ゲイツ財団に入る前は製薬産業にて臨床開発、規制関係、事業開発、外部研究提携を担う。その他、アニマルヘルス関連のNPO組織のGALVmedと獣医・畜産学の国際連携に向けた研究開発を行った経験や、英国パーバライト研究所にて獣医ウイルス学研究を行った経験を持つ。現在は財団にてアニマルヘルスや畜産関係の戦略事業を牽引している。



「複雑化する課題の解決のためのワンヘルスアプローチ導入」 トレーシー・ゴールドステイン 氏（コロラド州立大学ワンヘルス研究所所長）

コロラド州立大学のワンヘルス研究所所長であり、免疫・微生物・病理学科教授。現職以前は、カリフォルニア大学の病理学、免疫学、微生物学部の教授を務めるとともに、同校のワンヘルス研究所の副所長を務め、人、野生動物、環境の健康を理解するための研究や、海洋哺乳類のウイルス学的診断サービス等に関するプログラムを運営した。また、海洋哺乳類の自然死に関するNOAA水産ワーキンググループの議長を務めており、現在もワンヘルスアプローチを実践し、人、動物、環境の健康と疾病に焦点を当て続けている。



「感染症研究からワンヘルスを目指す～人と動物の健康と幸福～」 塩田 佳代子 氏（ボストン大学公衆衛生大学院アシスタントスロフェッサー）

東京大学で獣医学博士号取得後、エモリー大学で公衆衛生学修士号、イェール大学で感染症疫学博士号を取得。現在、国際保健、ワンヘルス、ワクチン疫学、ベイズ統計学を横断的に研究する感染症疫学者であり獣医師でもある。ワンヘルスの研究として、資源が限られた環境下における人、動物、環境、気象要因間の感染動態分析に基づく人獣共通感染症病原体の制御対策について研究を行う。これまでの研究プロジェクトを通じて、30カ国に及ぶ国々や、地方、州、連邦、国際機関と協働した経験を持つ。

- 総合討論 座長：横田 文彦 氏（九州大学准教授）
- 閉会式

参加登録方法

参加登録はサイトを検索されるか、または右の二次元コードを読み込み、
申し込みフォームよりご登録ください。

福岡県ワンヘルス国際フォーラム

検索



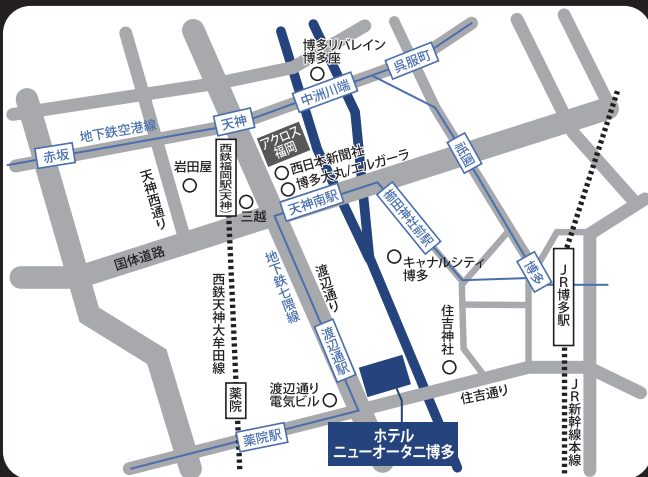
※応募多数の場合は抽選とし、医師・獣医師・研究機関・大学・行政関係者を優先させていただきます。
抽選結果は後日、申込者にご連絡いたします。

会場へのアクセス

ウェルカムレセプション会場

ホテルニューオータニ博多

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通1丁目1番2号



フォーラム会場

アクロス福岡

〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1番1号

